

学年	教科名	科目名	単位数	対象コース
中 3	英語		5	SS
教科書・副教材		NEW HORIZON English Course III(東京書籍)、新中学問題集 標準編(教育開発出版)、Target 1800(旺文社)、スタディサプリ、Z 会英会話		

科目の目標			
●科目について 1. はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を聞き取ることができる。 2. 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章の概要をとらえることができる。 3. 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。 4. 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。 5. 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を書くことができる。 ●コンピテンシーについて 1, 2 年生で学んできた基礎的な英語を復習しながら、主体的に学びに向か姿勢を身につける。アウトプットしていくことを頑張っていきましょう。英語を使ってコミュニケーション力を高めていけるように学んでいきましょう。			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能 聞くこと・読むこと】 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた（話された）短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。 【技能 話すこと・書くこと】 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話したり、書いたりする技能を身に付けている。	【聞くこと・読むこと】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題についてはっきりと書かれた（話される）文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。 【話すこと・書くこと】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話したり、書いたりしている。	授業や学びに対して積極的である。 【聞くこと・読むこと】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手（書き手）に配慮しながら、主体的に英語で話される（書かれた）ことを聞こう（読もう）としている。 【話すこと・書くこと】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こう（話そう）としている。
評価の方法	・定期テスト ・小テスト ・単元テスト ・パフォーマンス課題	・定期テスト ・パフォーマンス課題	・授業ノート ・宿題 ・自習ノート ・スタサプ ・ラジオ英会話 ・Z 会英会話

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1 学期	Unit 1 pp.9-16	8	定期試験
	What is special about Japanese pop culture?		単語テスト
	Unit 2 pp.19-26	8	単元テスト
	How do you choose your clothes?		パフォーマンス課題
	Unit 3 pp.31-38	8	授業の言語活動

	How can we save animals?		
	Unit 4 pp.51-58 How can we help each other in a disaster?	8	
	Unit 5 pp.61-68 What makes a good leader?	8	
	Unit 6 pp.77-84 What does it mean to be a global citizen?	8	
	新中間問題集	4	
2 学 期	Real Life English 1 p.17 ディスカッション	2	
	Real Life English 2 p.27 講演	2	
	Real Life English 3 p.39 グラフや表の活用	2	
	Real Life English 4 p.59 町中での手助け	2	
	Real Life English 5 p.69 記事への意見	2	
	新中間問題集	20	
	受験対策問題	20	
3 学 期	受験対策問題	16	
	新中間問題集	8	